令和５年度　国語科　第３学年年間指導計画　　合田淳郎

「教材名・指導目標・言語活動」欄の記号は、「◎指導事項　★言語活動　▼主体的に学習に取り組む態度」を表す

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
4月	世界はうつくしいと ◎（知・技(1)イ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 詩を通読する。 2 詩を読み深める。 3 詩の特徴を生かして朗読する。	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し，語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) 【態】進んで語感を磨き，友達の考えや今までの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとしている。
1　深まる学びへ				
4月	握手 ◎（知・技(1)イ） ◎（思・判・表C(1)ア） ◎（思・判・表C(1)イ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)イ）	4	1 作品を通読する。 2 作品の設定を捉える。 3 登場人物の人物像を読み取る。 4 登場人物の心情を読み取る。 5 読み深めた感想を交流する。 6 学習を振り返る。	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。((1)イ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，物語の展開のしかたなどを捉えようとしている。(C(1)ア) ・「読むこと」において，文章を批判的に読みながら，文章に表れているものの見方や考え方について考えようとしている。(C(1)イ) 【態】粘り強く物語の展開のしかたを捉え，学習課題に沿って作品を批評したり，考えたことを伝え合ったりしようとしている。
4月	［聞く］評価しながら聞く ◎（知・技(2)イ） ◎（思・判・表A(1)ア） ◎　（思・判・表A(1)エ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表A(2)ア）	1	1 ペットに関する討論会の一部を聞き，メモを取る。 2 評価しながら聞く練習をする。 3 学習を振り返る。	【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。((2)イ) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において，目的や場面に応じて，社会生活の中から話題を決め，多様な考えを想定しながら材料を整理し，伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において，話の展開を予測しながら聞き，聞き取った内容や表現のしかたを評価して，自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)エ) 【態】聞き取った内容や表現のしかたを進んで評価し，今までの学習を生かしてメモしようとしている。
4月	季節のしおり　春 ・(知・技(1)イ) ▼（主体的に学習に取り組む態度）	－	・春の気象にまつわる言葉や，春の情景を詠んだ和歌や短歌，俳句，漢詩を味わい，伝統的な言語文化に親しむ。	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し，語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) 【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして，積極的に語感を磨き，言語文化を大切にしようとしている。
5月	学びて時に之を習ふ ――「論語」から ◎（知・技(3)ア） ◎（思・判・表C(1)エ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)イ）	2	1「論語」という作品について知る。 2 「論語」を読み，孔子の考え方を読み取る。 3 日常生活や自分の生活を振り返り，孔子の言葉が当てはまると思われる体験や伝聞を伝え合う。 4 学習を振り返る。	【知・技】歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して，その世界に親しんでいる。((3)ア) 【思・判・表】「読むこと」において，文章を読んで考えを広げたり深めたりして，人間，社会，自然などについて，自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【態】人間，社会，自然などについて積極的に自分の意見をもち，今までの学習を生かして朗読したり考えを伝え合ったりしようとしている。

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
5月	情報整理のレッスン 情報の信頼性 ◎(知・技(2)イ) ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 P32下段の問題について，グループで考える。 2 教材文を通読する。 3 学習を振り返る。	【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。((2)イ) 【態】学習課題に沿って情報の信頼性の確かめ方を理解し，積極的に使おうとしている。
5月	文章の種類を選んで書こう 修学旅行記を編集する ◎（知・技(1)ウ） ◎（思・判・表B(1)ア） ◎（思・判・表B(1)イ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表B(2)イ）	4	1 4，5人のグループで編集会議を開く。 2 紙面構成を考えて下書きをする。 3 下書きを読んで助言し合い，清書する。 4 冊子にまとめ，読み合う。 5 学習を振り返る。	【知・技】文章の種類とその特徴について理解を深めている。((1)ウ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において，目的や意図に応じて，社会生活の中から題材を決め，集めた材料の客観性や信頼性を確認し，伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において，文章の種類を選択し，多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて，文章の構成を工夫している。(B(1)イ) 【態】進んで文章の種類を選択し，学習の見通しをもって情報を編集し文章にまとめようとしている。
5月	漢字１　熟語の読み方 漢字に親しもう１ ◎（知・技(1)ア） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 導入の例から，漢字二字の熟語には，音または訓を重ねる読み方と，音と訓を組み合わせた読み方があることを知る。 2 教材文を読み，さまざまな熟語の読み方について理解する。 3 練習問題に取り組み，理解の程度を確かめる。 4 P40「漢字に親しもう１」の問題に取り組む。	【知・技】第２学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字の大体を読んでいる。また，学年別漢字配当表に示されている漢字について，文や文章の中で使い慣れている。((1)ア) 【態】学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
2　視野を広げて				
5月	作られた「物語」を超えて ◎（知・技(2)ア） ◎（思・判・表C(1)ア） ◎（思・判・表C(1)ウ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)ア）	3	1 全文を通読する。 2 筆者の問題意識（話題）を捉える。 3 筆者の主張と論理の展開を捉える。 4 筆者の主張と論理の展開を評価する。 5 学習を振り返る。	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 【思・判・表】 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，論理の展開のしかたなどを捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において，文章の構成や論理の展開，表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ) 【態】進んで文章の構成や論理の展開のしかたについて評価し，情報と情報の関係について深めた理解を生かして，文章にまとめようとしている。
6月	思考のレッスン 具体化・抽象化 ◎（知・技(2)ア） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 P50の教材文を通読する。 2 P51の教材文を通読し，具体化と抽象化の程度について理解する。 3 学習を振り返る。	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 【態】具体と抽象の関係について積極的に理解し，学習した内容を生かして課題に取り組もうとしている。

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
6月	説得力のある構成を 考えよう スピーチで社会に思いを 届ける 資料 リオの伝説のスピーチ ◎（知・技(2)イ） ◎（思・判・表A(1)ア） ◎（思・判・表A(1)イ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表A(2)ア）	4	1 話題を決めて，情報を集める。 2 話の構成を考える。 3 スピーチの会を開く。 4 学習を振り返る。	【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。（(2)イ） 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において，目的や場面に応じて，社会生活の中から話題を決め，多様な考えを想定しながら材料を整理し，伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において，自分の立場や考えを明確にし，相手を説得できるように論理の展開などを考えて，話の構成を工夫している。(A(1)イ) 【態】相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し，今までの学習を生かして自分の考えを話そうとしている。
6月	漢字に親しもう２ ◎（知・技(1)ア） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。	【知・技】第２学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字の大体を読んでいる。また，学年別漢字配当表に示されている漢字について，文や文章の中で使い慣れている。（(1)ア） 【態】学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
6月	文法への扉１ すいかは幾つ必要？ ◎（2年知・技(1)オ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 教材文を読み，文法的な観点から表現を見直すことの意義を確認する。 2 P212「文法1 文法を生かす」を読み，文節・連文節の係り受けなど，既習の文法について理解を深め，文法の知識を表現や読解に生かすポイントを確認する。	【知・技】単語の活用，助詞や助動詞などの働き，文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに，話や文章の構成や展開について理解を深めている。(2年(1)オ) 【態】助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り，今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。
情報社会を生きる				
6月	実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう ◎（知・技(2)イ） ◎（思・判・表C(1)イ） ◎（思・判・表C(1)ウ） ◎（思・判・表B(1)ア） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)ア） ★（思・判・表C(2)ウ）	3	1 社会生活の中で触れたことのある実用的な文章を挙げる。 2 P62「やってみよう」①に取り組む。 3 P63「やってみよう」②に取り組む。 4 P63「やってみよう」の③に取り組む。 5 P64～67の報道文 A・B を通読し，P68「やってみよう」に取り組む。 6 学習を振り返る。	【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。（(2)イ） 【思・判・表】 ・「読むこと」において，文章を批判的に読みながら，文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において，文章の構成や論理の展開，表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ) ・「書くこと」において，目的や意図に応じて，社会生活の中から題材を決め，集めた材料の客観性や信頼性を確認し，伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】積極的に情報の信頼性の確かめ方を使って読み，学習したことを踏まえて実生活への生かし方を考えようとしている。また，文章の構成や論理の展開，表現のしかたについて進んで評価し，学習課題に沿って報道の文章を比較し，考えをまとめようとしている。
３　言葉とともに				

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
7月	俳句の可能性 俳句を味わう ［書く］俳句を作って楽しもう ◎（知・技(1)イ） ◎（知・技(1)ウ） ◎（思・判・表C(1)ウ） ◎（思・判・表B(1)イ） ◎（思・判・表B(1)ウ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)イ） ★（2年思・判・表B(2)ウ）	3	1 情景を想像しながら，それぞれの俳句を朗読する。（学習①） 2 本文を読み，俳句についてまとめる。 3 P75「俳句を作って楽しもう」に取り組む。 4 学習を振り返る。	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し，語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)イ） ・文章の種類とその特徴について理解を深めている。（(1)ウ） 【思・判・表】 ・「読むこと」において，文章の構成や表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ) ・「書くこと」において，多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて，文章の構成を工夫している。(B(1)イ) ・「書くこと」において，表現のしかたを考えるなど，自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 【態】進んで文章の種類とその特徴について理解し，学習課題に沿って，鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。
7月	言葉を選ぼう もっと「伝わる」表現を目ざして ◎（知・技(3)ウ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 言葉の変化について知る。 2 言葉の変化について話し合う。 3 相手や場面によって，言葉を選ぶ。	【知・技】時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。（(3)ウ） 【態】時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて進んで理解し，試行錯誤しながら相手や場面によって言葉を選んで話そうとしている。
7月	言葉１　和語・漢語・外来語 ◎（知・技(1)イ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 教材文の導入の例を基に，和語・漢語・外来語から受ける印象の違いについて考える。 2 教材文を読み，和語・漢語・外来語・混種語について理解する。	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し，和語，漢語，外来語などを使い分けることを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)イ） 【態】進んで和語・漢語・外来語を理解し，今までの学習を生かして相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。
読書生活を豊かに				
7月	読書を楽しむ ◎（知・技(3)オ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 さまざまな読書の楽しみ方について知る。 2「ブックトーク」，「読書会」，「読書生活をデザインする」の中から，夏休みに行う活動を選ぶ。 3 教材文に示されている各活動の内容に沿って，今後の見通しを立てる。 4 活動を行い，レポートか活動報告書を提出する。	【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。（(3)オ） 【態】進んで読書の意義と効用について理解し，見通しをもって読書を楽しむ活動に参加しようとしている。
7月	「私の一冊」を探しにいこう 羊と鋼の森 読書案内 本の世界を広げよう 読書コラム ためになるって どんなこと？ ◎（知・技(3)オ） ◎（思・判・表C(1)エ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)イ）	1	1 教科書本文を通読し，本のさまざまな探し方について知る。 2 学校図書館やインターネットを活用するなど，探し方を工夫して，興味がもてそうな本を探す。 3 見つけた本を夏休みに読み，書評やポップを書く。 4 インターネットなどから自分が選んだ本の書評やポップを検索し，自分の書いたものと比べてみる。	【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解しようとしている。（(3)オ） 【思・判・表】「読むこと」において，文章を読んで考えを広げたり深めたりして，人間，社会，自然などについて，自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【態】進んで読書の意義と効用について理解し，今までの学習を生かして本を選んだり読んだことを書評などにまとめたりしようとしている。
7月	季節のしおり　夏 ・（知・技(1)イ） ▼（主体的に学習に取り組む	－	・夏の気象にまつわる言葉や，夏の情景を詠んだ和歌や短歌，俳句を味わい，伝統的な言語文化に親しむ。	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し，語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)イ） 【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かし

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	態度）			て，積極的に語感を磨き，言語文化を大切にしようとしている。
4　状況の中で				
9月	挨拶 ――原爆の写真によせて ◎（知・技(1)イ） ◎（思・判・表C(1)ウ） ◎（思・判・表C(1)エ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)イ）	2	1 作品を通読し，当時の時代背景について確認する。 2 「顔」という表現を捉える。（学習①） 3 表現の効果を評価する。 4 自分の意見を述べる。 5 学習を振り返る。	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し，語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)イ） 【思・判・表】 ・「読むこと」において，詩の構成や表現のしかたについて評価している。（C(1)ウ） ・「読むこと」において，詩を読んで考えを広げたり深めたりして，人間，社会，自然などについて，自分の意見をもっている。（C(1)エ） 【態】詩の構成や表現のしかたについて積極的に評価し，学習課題に沿って読み深めた詩について，感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。
9月	故郷 ◎（知・技(3)オ） ◎（思・判・表C(1)イ） ◎（思・判・表C(1)エ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)イ）	5	1 作品を通読し，作品の設定を捉える。 2 場面や登場人物の設定に着目して読み取る。 3 作品を批評する。（学習③） 4 学習を振り返る。	【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。（(3)オ） 【思・判・表】 ・「読むこと」において，文章を批判的に読みながら，文章に表れているものの見方や考え方について考えている。（C(1)イ） ・「読むこと」において，文章を読んで考えを広げたり深めたりして，人間，社会，自然などについて，自分の意見をもっている。（C(1)エ） 【態】粘り強く文章を批判的に読み，今までの学習を生かして小説を批評したり，自分の考えをまとめたりしようとしている。
9月	聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る ◎（知・技(1)エ） ◎（思・判・表A(1)エ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★(思・判・表A(2)ア)	1	1 対談の準備をする。 2 対談を行う。 3 学習を振り返る。	【知・技】敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し，適切に使っている。（(1)エ） 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において，話の展開を予測しながら聞き，聞き取った内容や表現のしかたを評価して，自分の考えを広げたり深めたりしている。（A(1)エ） 【態】粘り強く話の展開を予測しながら聞き，今までの学習を生かして質問したり評価を述べたりしようとしている。
9月	[推敲]論理の展開を整える ◎（知・技(2)ア） ◎（思・判・表B(1)エ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 P116上段の文章を通読し，下段の課題に取り組む。 2 学習を振り返る。	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。（(2)ア） 【思・判・表】「書くこと」において，目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて，文章全体を整えている。（B(1)エ） 【態】目的や意図に応じた表現になっているかを粘り強く確かめ，情報と情報との関係の知識を生かして推敲しようとしている。
9月	言葉２ 慣用句・ことわざ・故事成語 ◎（知・技(1)イ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 導入の例のような，一まとまりで決まった意味をもつ言葉をできるだけたくさん書き出す。 2 教材文を読み，慣用句・ことわざ・故事成語の特徴や性質について理解する。 3 学習を振り返る。	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し，慣用句や四字熟語などについて理解を深め，話や文章の中で使うとともに，語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)イ） 【態】積極的に慣用句やことわざ，故事成語を理解し，今までの学習を生かして短文を作ったり調べたりしようとしている。

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
10月	漢字２　漢字の造語力 漢字に親しもう ◎（知・技(1)ア） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 導入の文章を読み，新しい日本語が考え出された経緯を知る。 2 教材文を読み，「翻訳語」と「新しい語」の側面から漢字の造語力について知る。 3 練習問題に取り組む。 4 P122「漢字に親しもう３」に取り組む。	【知・技】第２学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字の大体を読んでいる。また，学年別漢字配当表に示されている漢字について，文や文章の中で使い慣れている。((1)ア) 【態】学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
5　自らの考えを				
10月	人工知能との未来 人間と人工知能と創造性 ◎（知・技(2)イ） ◎（思・判・表C(1)イ） ◎（思・判・表C(1)エ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)ア）	3	1 文章の要旨を捉える。 2 文章の比較を基にグループで討論し，考えを広げる。 3 自分の考えを文章にまとめる。 4 学習を振り返る。	【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。((2)イ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において，文章を批判的に読みながら，文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において，文章を読んで考えを広げたり深めたりして，人間，社会，自然などについて，自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【態】積極的に二つの文章を批判的に読み，学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。
10月	多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く ◎（知・技(2)ア） ◎（思・判・表B(1)イ） ◎（思・判・表B(1)ウ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表B(2)ア）	4	1 批評文について知り，題材を選ぶ。 2 観点を決めて分析する。 3 構成を考える。 4 推敲して仕上げる。 5 学習を振り返る。	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 【思・判・表】 ・「書くこと」において，文章の種類を選択し，多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて，文章の構成を工夫している。(B(1)イ) ・「書くこと」において，表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど，自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 【態】粘り強く表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりし，学習の見通しをもって批評文を書こうとしている。
10月	漢字に親しもう４ ◎（知・技(1)ア） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。	【知・技】第２学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字の大体を読んでいる。また，学年別漢字配当表に示されている漢字について，文や文章の中で使い慣れている。((1)ア) 【態】学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
10月	[議論]話し合いを効果的に進める ◎（知・技(2)ア） ◎（思・判・表A(1)オ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表A(2)イ）	1	1 卒業文集のテーマ設定についての話し合いの例を聞き，論点を整理する。 2 テキストの□の欄に当てはまる発言を考える。 3 学習を振り返る。	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において，進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い，合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ) 【態】積極的に進行のしかたを工夫し，学習したことを生かして効果的な話し合いについて考えようとしている。
10月	漢字２　漢字の造語力 漢字に親しもう３ ◎（知・技(1)ア） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 導入の文章を読み，新しい日本語が考え出された経緯を知る。 2 教材文を読み，「翻訳語」と「新しい語」の側面から漢字の造語力について知る。 3 練習問題に取り組み，理解の程度を確かめる。 4 P122「漢字に親しもう３」の問題に取り組む。	【知・技】第２学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字の大体を読んでいる。また，学年別漢字配当表に示されている漢字について，文や文章の中で使い慣れている。((1)ア) 【態】学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
5　自らの考えを				

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
10月	人工知能との未来 人間と人工知能と創造性 ◎（知・技(2)イ） ◎（思・判・表C(1)イ） ◎（思・判・表C(1)エ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)ア）	3	1 文章の要旨を捉える。 2 文章の比較を基にグループで討論し，考えを広げる。 3 自分の考えを文章にまとめる。 4 学習を振り返る。	【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 【思・判・表】 ・「読むこと」において，文章を批判的に読みながら，文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において，文章を読んで考えを広げたり深めたりして，人間，社会，自然などについて，自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【態】積極的に二つの文章を批判的に読み，学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。
10月	多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く ◎（知・技(2)ア） ◎（思・判・表B(1)イ） ◎（思・判・表B(1)ウ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表B(2)ア）	4	1 批評文について知り，題材を選ぶ。 2 観点を決めて分析する。 3 構成を考える。 4 推敲して仕上げる。 5 学習を振り返る。	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 【思・判・表】 ・「書くこと」において，文章の種類を選択し，多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて，文章の構成を工夫している。(B(1)イ) ・「書くこと」において，表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど，自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 【態】粘り強く表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりし，学習の見通しをもって批評文を書こうとしている。
10月	漢字に親しもう４ ◎(知・技(1)ア) ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。	【知・技】第２学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字の大体を読んでいる。また，学年別漢字配当表に示されている漢字について，文や文章の中で使い慣れている。((1)ア) 【態】学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
10月	[議論]話し合いを効果的に進める ◎（知・技(2)ア） ◎（思・判・表A(1)オ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表A(2)イ）	1	1 卒業文集のテーマ設定についての話し合いの例を聞き，論点を整理する。 2 テキストの□の欄に当てはまる発言を考える。 3 学習を振り返る。	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において，進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い，合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ) 【態】積極的に進行のしかたを工夫し，学習したことを生かして効果的な話し合いについて考えようとしている。
11月	合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く ◎（知・技(2)ア） ◎（思・判・表A(1)オ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表A(2)イ）	4	1 合意形成の重要性を知り，課題を見つけ，議題を決める。 2 グループで具体的な提案を考える。 3 全体会議を開く 4 学習を振り返る。	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において，進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い，合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ) 【態】合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし，学習の見通しをもって話し合おうとしている。
11月	音読を楽しもう　初恋 ◎（知・技(1)イ） ◎（思・判・表C(1)ウ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 言葉の響きやリズムを味わいながら「初恋」を朗読する。 2 語句の意味や表現に込められた作者の思いを読み取り，感じたことを発表し合う。	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し，語感を磨き，語彙を豊かにしている。((1)イ) 【思・判・表】「読むこと」において，詩の構成や展開，表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ) 【態】進んで語感を磨き，今までの学習を生かして朗読したり自分の考えを述べたりしようとしている。
11月	季節のしおり　秋	－	・秋の気象にまつわる言葉や，秋の情景を詠	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	・(知・技(1)イ) ▼（主体的に学習に取り組む態度）		んだ和歌や俳句，漢詩を味わい，伝統的な言語文化に親しむ。	量を増し，語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)イ） 【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして，積極的に語感を磨き，言語文化を大切にしようとしている。
6　いにしえの心を受け継ぐ				
11月	和歌の世界 音読を楽しもう 古今和歌集　仮名序 ◎（知・技(3)ア） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1「和歌の世界」を読む。 2「古今和歌集　仮名序」冒頭部分を朗読し，作者の思いを想像する。	【知・技】歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して，その世界に親しんでいる。（(3)ア） 【態】進んで古典の世界に親しみ，今までの学習を生かして朗読しようとしている。
11月	君待つと ――万葉・古今・新古今 ◎（知・技(3)ア） ◎（知・技(3)イ） ◎（思・判・表C(1)ウ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)イ）	2	1 和歌を声に出して読む。 2 和歌の世界を味わう。 3 心に響いた和歌を一首選び，鑑賞文を書く。 4 学習を振り返る。	【知・技】 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して，その世界に親しんでいる。（(3)ア） ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。（(3)イ） 【思・判・表】「読むこと」において，和歌の表現のしかたについて評価している。（C(1)ウ） 【態】進んで和歌の表現のしかたについて評価し，見通しをもって鑑賞文を書こうとしている。
11月	夏草 ――「おくのほそ道」から ［書く］古典の言葉を引用し，メッセージを贈ろう ◎（知・技(3)ア） ◎（知・技(3)イ） ◎（思・判・表C(1)エ） ◎（思・判・表B(1)イ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)イ） ★（思・判・表B(2)イ）	4	1 作品を朗読する。（学習①） 2 芭蕉のものの見方や感じ方を読み取る。（学習②） 3 心に響く俳句について発表する。（学習③） 4 学習を振り返る。 5 古典の言葉を引用し，メッセージを贈る。 6 文章を友達と読み合い，学習を振り返る。	【知・技】 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して，その世界に親しんでいる。（(3)ア） ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 【思・判・表】 ・「読むこと」において，文章を読んで考えを広げたり深めたりして，人間，社会，自然などについて，自分の意見をもっている。（C(1)エ） ・「書くこと」において，文章の種類を選択し，多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて，文章の構成を工夫している。（B(1)イ） 【態】人間，社会，自然などについて進んで自分の意見をもち，今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。
12月	古典名句・名言集 ◎（知・技(3)ア） ◎（知・技(3)イ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	－	1 「古典名句・名言集」を朗読する。 2 気に入った名句・名言を選ぶ。	【知・技】 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して，その世界に親しんでいる。（(3)ア） ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。（(3)イ） 【態】長く親しまれている言葉や古典の一節を進んで引用するなどし，今までの学習を生かして朗読したり書き出したりしようとしている。
7　価値を生み出す				
12月	誰かの代わりに ◎（知・技(1)イ） ◎（思・判・表C(1)エ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)ア）	3	1 筆者の考えを確認しながら全文を通読する。（学習①） 2 筆者の考え方について話し合う。（学習②） 3 自分の考えをまとめる。（学習③） 4 学習を振り返る。	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し，慣用句や四字熟語などについて理解を深め，話や文章の中で使うとともに，和語，漢語，外来語などを使い分けることを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)イ） 【思・判・表】「読むこと」において，文章を読んで考えを広げたり深めたりして，人間，社会，自然などについて，自分の意見をもっている。（C(1)エ） 【態】人間，社会，自然などについて進んで自分の意見をもち，今までの学習を生かして，理解したことや考

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
				えたことについて討論したり文章にまとめたりしようとしている。
12月	情報を読み取って文章を書こう グラフを基に小論文を書く ◎（知・技(2)ア） ◎（思・判・表B(1)オ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表B(2)ア）	2	1 グラフから情報を客観的に読み取り，自分なりの問いを立てて分析する。 2 構成や内容を考えて小論文を書き，助言し合う。 3 学習を振り返る。	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 【思・判・表】「書くこと」において，論理の展開などについて，読み手からの助言などを踏まえ，自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ) 【態】論理の展開などについて，読み手からの助言などを踏まえて粘り強く推敲し，学習の見通しをもって小論文を書こうとしている。
12月	漢字３　漢字のまとめ 漢字に親しもう５ ◎（知・技(1)ア） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 二年生までに学習した漢字を復習する。 2 三年生で学習した漢字を復習する。 3 P176「漢字に親しもう５」の問題に取り組む。	【知・技】第２学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字の大体を読んでいる。また，学年別漢字配当表に示されている漢字について，文や文章の中で使い慣れている。((1)ア) 【態】学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
12月	文法への扉２ 「ない」の違いがわからない？ ◎（知・技1年(1)エ，２年(1)オ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 教材文を読み，「ない」の文法上の違いを理解する。 2 P215「文法２　文法のまとめ」にある文法の問題に取り組む。	【知・技】単語の類別について理解するとともに，単語の活用，助詞や助動詞などの働きについて理解している。(1年(1)エ，2年(1)オ) 【態】単語の活用，助詞や助動詞などの働きについて進んで理解し，これまでの学習を生かして課題に取り組もうとしている。
読書に親しむ				
12月	本は世界への扉 エルサルバドルの少女 ヘスース 紛争地の看護師 読書案内　本の世界を広げよう ◎（知・技(3)オ） ◎（思・判・表C(1)エ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)ア）	1	1 「エルサルバドルの少女 ヘスース」と「紛争地の看護師」を読み比べ，登場する人物の生き方について自分の考えをもつ。 2 P191「本の世界を広げよう」を読み，読んだ本や，興味をもった本について語り合う。	【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ) 【思・判・表】「読むこと」において，文章を読んで考えを広げたり深めたりして，人間，社会，自然などについて，自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【態】進んで読書の意義と効用について理解し，今までの学習や経験を生かして，ノンフィクションを読んで考えたことをまとめようとしている。
12月	季節のしおり　冬 ・（知・技(1)イ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	－	・冬の気象にまつわる言葉や，冬の情景を詠んだ俳句や詩，名文を味わい，伝統的な言語文化に親しむ。	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し，語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) 【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして，積極的に語感を磨き，言語文化を大切にしようとしている。
８　未来へ向かって				
1月	温かいスープ ◎（知・技(3)オ） ◎（思・判・表C(1)エ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)イ）	3	1 時代背景や筆者の置かれた状況を捉えながら全文を通読する。 2 筆者の考える「国際性」とは何かを読み取る。 3 国際性について自分の考えをもつ。	【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ) 【思・判・表】「読むこと」において，文章を読んで考えを広げたり深めたりして，人間，社会，自然などについて，自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【態】人間，社会，自然などについて進んで自分の意見をもち，今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。
1月	わたしを束ねないで ◎（知・技(1)イ） ◎（思・判・表C(1)エ） ▼（主体的に学習に取り組む	1	1 朗読を通して，詩のもつイメージを捉える。 2 作者の思いを読み取り，自分の可能性について考える。	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し，語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) 【思・判・表】「読むこと」において，詩を読んで考えを

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	態度） ★（思・判・表C(2)イ）	2		広げたり深めたりして，人間，社会，自然などについて，自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【態】詩を読んで進んで考えを広げたり深めたりし，今までの学習を生かして，作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。
2月	三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて，発表会をする ◎（知・技(1)イ） ◎（知・技(1)エ） ◎（思・判・表A(1)ウ） ◎（思・判・表B(1)イ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表A(2)ア） ★（思・判・表B(2)イ）	6	1 三年間の学びを振り返り，冊子のテーマを決める。 2 冊子の構成を考える。 3 冊子を作る。 4 発表会を開く。 5 学習を振り返る。	【知・技】 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し，慣用句や四字熟語などについて理解を深め，話や文章の中で使うとともに，和語，漢語，外来語などを使い分けることを通して，語感を磨き語彙を豊かにする。((1)イ) ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し，適切に使っている。((1)エ) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において，場の状況に応じて言葉を選ぶなど，自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) ・「書くこと」において，文章の種類を選択し，多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて，文章の構成を工夫している。(B(1)イ) 【態】粘り強く言葉を選んだり構成を工夫したりし，今までの学習を生かして，文章にまとめたり，友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。
2月	漢字に親しもう６ ◎（知・技(1)ア） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 これまでの学習を生かして，練習問題に取り組む。	【知・技】第２学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字の大体を読んでいる。また，学年別漢字配当表に示されている漢字について，文や文章の中で使い慣れている。(知・技(1)ア) 【態】学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
振り返り				

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
3月	学習を振り返ろう ◎（知・技(1)エ） ◎（知・技(2)ア） ◎（知・技(3)ウ） ◎（知・技(3)オ） ◎（思・判・表C(1)エ） ◎（思・判・表A(1)イ） ◎（思・判・表A(1)ウ） ◎（思・判・表B(1)ウ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)ア） ★（思・判・表C(2)イ） ★（思・判・表A(2)ア） ★（思・判・表B(2)イ）	4	1 P225の小説を読み，学習課題に取り組む。 2 P228の説明文を読み，学習課題に取り組む。 3 P229のスピーチ原稿を読み，学習課題に取り組む。 4 P230の図表を用いて，学習課題に取り組む。	【知・技】 ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し，適切に使っている。((1)エ) ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。((3)ウ) ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において，文章を読んで考えを広げたり深めたりして，人間，社会，自然などについて，自分の意見をもっている。(C(1)エ) ・「話すこと・聞くこと」において，自分の立場や考えを明確にし，相手を説得できるように論理の展開などを考えて，話の構成を工夫している。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において，場の状況に応じて言葉を選ぶなど，自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) ・「書くこと」において，表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど，自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 【態】粘り強く文章や資料を読み取り，今までの学習を生かしてそれぞれの学習課題に取り組もうとしている。